【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公開番号】特開2011-212636(P2011-212636A)
【公開日】平成23年10月27日(2011.10.27)
【年通号数】公開・登録公報2011-043
【出願番号】特願2010-85736(P2010-85736)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ　39/14　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　 9/16　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　39/16　(2006.01)
Ｂ０３Ｃ　 3/28　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　46/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ　39/14　Ｎ
Ａ６１Ｌ　 9/16　Ｄ
Ｂ０１Ｄ　39/16　Ａ
Ｂ０３Ｃ　 3/28
Ｂ０１Ｄ　39/14　Ｅ
Ｂ０１Ｄ　39/16　Ｅ
Ｂ０１Ｄ　46/00　３０１

【手続補正書】
【提出日】平成25年3月21日(2013.3.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
２層の基材層間にガス除去粒子を挟み込んでなる複合濾材であって、少なくとも１層の基材層がエレクトレットメルトブロー不織布シートであり、前記エレクトレットメルトブロー不織布シートの２％伸張時応力のタテ方向またはヨコ方向の大きい方の値が０．０３～０．４ＭＰａであることを特徴とする複合濾材。
【請求項２】
エレクトレットメルトブロー不織布シートの平均繊維径が１．５～４．０μｍ、目付が１０～５０ｇ／ｍ^{2}であることを特徴とする請求項１記載の複合濾材。
【請求項３】
ガス除去粒子が、平均粒子径が１５０～２６０μｍの活性炭を少なくとも含むものであることを特徴とする請求項１または２記載の複合濾材。
【請求項４】
請求項１に記載の複合濾材の厚みの平均値が０．６～０．８ｍｍであり、かつ厚みのバラツキが３％以内であることを特徴とする請求項１～３いずれかに記載の複合濾材。
【請求項５】
請求項１～４いずれかに記載の複合濾材を用いたことを特徴とするエアフィルターユニット。
【請求項６】
請求項１～４いずれかに記載の複合濾材をプリーツ加工し、その周囲を枠体で画設したこ

とを特徴とする空気清浄機用エアフィルターユニット。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
（２）上記のエレクトレットメルトブロー不織布シートの平均繊維径が１．５～４．０μｍ、目付が１０～５０ｇ／ｍ^{2}であることを特徴とする複合濾材。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
（３）上記のガス除去粒子が、平均粒子径が１５０～２６０μｍの活性炭であることを特徴とする複合濾材。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
上記と繊維径と同じ目的においてエレクトレット不織布シートの目付は１０～５０ｇ／ｍ^{2}が好ましく、より好ましくは１５～４０ｇ／ｍ^{2}である。目付が高すぎると複合濾材の厚みが増しフィルター圧損を上げる傾向にある。逆に低いと、捕集効率の低下が起こる傾向がある。